

# 【巡回指導〈1〉】会津若松市立 第三中学校

日程：2019年 9月23日（月・祝）

参加者：若松第三中学校（10名）/菅沼先生

指導者：小野章三（元堺ブレイザーズ）

同行者：事務局/高木副実行委員長、小色尚子



1回目の指導は小野章三コーチです。最初に高木副委員長から友情ネットについて主旨と概要を説明しました。次に小野コーチからバレーを通じて人として学んで欲しいこととお話させていただきました。人として大切なことは？の質問に「優しさ、感謝、挨拶、社会性、笑顔、強い意志、礼儀、愛」など積極的に様々な言葉が出ました。次にコミュニケーションゲームをしました。2チームに分かれて2つのボールを足で運び、より早くゴールできるか競いました。「勝つためにどうするかチームで考えて話し合おう」とチームワークの大切さを小野コーチが伝えます。ゲームの中で、助けあって協力することや攻略を自分たちで考え実行することを伝えました。



オーバーとアンダーのパスの練習を見せてもらいました。小野コーチから「厳しいことを言おう、基礎が全然できてないね」と厳しい感想が述べられ、その途端、生徒の皆さんの顔色が変わりました。「ボールがあちらこちらに行くのはなぜ？基礎というしっかりとした型があって、その先に技術があり技能があります。姿勢、腕や足の使い方、ボールの捉え方、全ての基礎をしっかりやろう」と言葉がありました。ひとりひとりに丁寧に指導し、基礎の大切さを伝えました。真剣にかつ明るさをもって挑む姿がとても印象的でした。



次にスパイクの練習をしました。「入れることから、狙えるスパイクを意識しよう。飛ぶタイミングと打つタイミングの感覚、狙った所に打てる技術をしっかりと体に刻もう」と小野コーチが伝えます。小野コーチの叱咤激励の声に意識が高まり、どんどん良いスパイクが打ち込まれました。最後にフォーメーションを確認しながら、最後のアタックまでチーム内の役割とポジションについて明確化する指導をしました。回を重ねていく度に大切な声が出て、自分たちの役割をしっかりと行って良い形になっていきました。自分の意見を言える子が多く、小野コーチの問いかけに自分の言葉でしっかりと伝えている姿はとても頼もしく、この意識の高さがチームの向上になっていくと思います。この1年間の成長が楽しみです。励まし合いながら心を1つにして三中らしさを精一杯発揮してください！